

地方公共団体への支援について

< 橋梁点検・診断実習 >

- 石川県道路メンテナンス会議は、県内の自治体職員の橋梁点検・診断に関する技術力の向上を目的とした「橋梁点検・診断実習」を実施しました。
- 新しい道路橋定期点検要領に基づき、地方自治体が管理する橋梁を対象に、自治体職員自らが近接目視点検及び診断を実習しました。



自治体管理橋梁で自治体職員自ら点検
(11月20日 石川県宝達志水町)



自治体職員による点検・診断記録作成演習
(11月20日 石川県宝達志水町)

【参加者のコメント】

- 今回、近接目視点検を行なった結果、桁端部の損傷や劣化が意外と進んでいる事を実感したので、非常に参考になった。
- これまでは、橋の損傷原因まで深く考えていなかったが、今回の実習で損傷原因の推定を診断し・記録する重要性について理解できたので良かった。
- 自ら「点検記録」を作成することができ、参考になった。

【参加状況】 ()書きは、参加人数を示す。

【石川県内】: 1県、9市、7町(計53名)

- 11/ 20 宝達志水町〔冬野橋〕 : 石川県(3)、宝達志水町(7)、羽咋市(2)、かほく市(1)、津幡町(3)、内灘町(2) 計 18名
 - 11/ 21 加賀市〔大正橋〕 : 加賀市(9)、白山市(2)、能美市(2) 計 13名
 - 11/ 26 輪島市〔西院内下橋〕 : 輪島市(5)、穴水町(2) 計 7名
 - 11/ 27 能登町〔上岩屋橋〕 : 能登町(3)、七尾市(1)、輪島市(1)、珠洲市(1) 計 6名
 - 11/ 28 志賀町〔百刈橋〕 : 志賀町(5)、羽咋市(2)、野々市市(1)、中能登町(1) 計 9名
- 合計 53名